

Borgo del Tiglio (Nicola Manfredi)

ボルゴ・デル・ティリオ (ニコラ・マンフェッラーリ)



	<p align="center">○IGT Venezia Giulia - Milleuve Bianco ヴェネツィア・ジュリア ミッレウーヴェ・ビアンコ</p>			備考	<p>フリウリのさまざまな丘の、さまざまな品種のブレンド。ミッレ・ウーヴェとはイタリア語で“千のブドウ”を意味する。低価格帯のワインだが、ニコラ・マンフェッラーリのワイン哲学がすみずみまで行きわたったワイン。</p> <p>樽のニュアンスとブドウの果実味からくる、ボディーは感じるが、高い酸味と塩味のおかげで、後味はすっきりしている。</p>
畑	<p>品種：フリウラーノ、ソーヴィニオン、シャルドネ、マルヴァジア、リースリング 土壌：新生代の泥灰土壌</p>	醸造	<p>250Lの樽で醗酵。 250Lの樽で数カ月熟成。</p>		
	<p align="center">●IGT Marche - Milleuve Rosso マルケ ミッレウーヴェ・ロッソ</p>			備考	<p>ニコラ・マンフェッラーリがマルケ州で進めるプロジェクト。ミッレ・ウーヴェとはイタリア語で“千のブドウ”を意味する。低価格帯のワインだが、ニコラ・マンフェッラーリのワイン哲学がすみずみまで行きわたったワイン。</p> <p>フルボディーだが、優雅で、タンニンが柔らかく、クリアなアロマと飲み心地を備えたワインを目指す。</p>
畑	<p>品種：モンテプルチアーノ主体、サンジョヴェーゼ 位置：北から南向きまで 土壌：チョークの幅広い露頭のある、小石の多い土壌</p>	醸造	<p>1200Lの木製開放桶で醗酵。 250Lの樽で熟成。 新樽100%ではない。</p>		
	<p align="center">○Collio コッリオ</p>			備考	<p>複数の品種、複数の区画、複数の樽のブレンド。</p>
畑	<p>品種：フリウラーノ、ソーヴィニオン、シャルドネ、マルヴァジア</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10カ月間熟成。</p>		
	<p align="center">○Collio - Friulano コッリオ フリウラーノ</p>			備考	
畑	<p>品種：フリウラーノ 植樹：1960年頃 位置：南西向き、標高150m 土壌：泥灰土質</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10カ月間熟成。</p>		
	<p align="center">○Collio - Chardonnay コッリオ シャルドネ</p>			備考	
畑	<p>品種：シャルドネ 植樹：1985年頃 位置：南東向き、標高150m 土壌：泥灰土質</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10カ月間熟成。</p>		
	<p align="center">○Collio - Chardonnay Selezione コッリオ シャルドネ・セレッツィオーネ</p>			備考	<p>毎年醸造される、Collio Chardonnayの熟成中の樽選別 (Selezione)。毎年造られるわけではなく、特にバランスと優雅さの優れた樽を、数樽選んで造られる年がある。通常のキュヴェとはエチケットの色を分けて区別している。</p>
畑	<p>品種：シャルドネ 植樹：1985年頃、1975年頃 位置：南東、南西向き、標高150m 土壌：泥灰土質</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10カ月間熟成。</p>		

Borgo del Tiglio (Nicola Manfredi)

ボルゴ・デル・ティリオ (ニコラ・マンフェッラーリ)



	<p>○Collio - Sauvignon Selezione コッリオ ソーヴィニオン・セレツィオーネ</p>		備考	<p>毎年醸造される、Collio Sauvignonの熟成中の樽選別 (Selezione)。毎年造られるわけではなく、特にバランスと優雅さの優れた樽を、数樽選んで造られる年がある。通常のキュヴェとはエチケットの色を分けて区別している。</p>
畑	<p>品種：ソーヴィニオン100% 土壌：泥灰土質</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10ヵ月間熟成。</p>	備考
	<p>○Collio - Studio di Bianco コッリオ ストゥーディオ・ディ・ピアンコ</p>		備考	
畑	<p>品種：フリウラーノ、ソーヴィニオン、リースリング 植樹：1989年以前 位置：全方位</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10ヵ月間熟成。</p>	備考
	<p>○Collio - Ronco della Chiesa コッリオ ロンコ・デッラ・キエーザ</p>		備考	
畑	<p>品種：フリウラーノ 植樹：1960年頃 位置：南西向き 土壌：泥灰土質</p>	醸造	<p>木樽で醗酵。 木樽で10ヵ月間熟成。</p>	備考